

一般質問

中根 光男 議員

Q エアコン未設置の小学校への今後の対策は

A 学校統廃合を進めており、冷風機等の配置で対応

Q 近年は夏の暑さが厳しく、小学校の授業では、児童の集中力低下が学力にも影響を及ぼしていると考えます。一日も早い対策をとの要望も多々寄せられていることから、エアコンの設置状況と今後の対応策について伺う。

A 教育部長 現在未整備の小学校は、新治小、七会小、上佐谷小の3校です。教育環境の公平性や児童の健康管理を第一に考えることは当然ですが、現在、小中学校適正規模化による統廃合を進めていることから、今後は、冷風機等の配置により対応したいと考えております。

Q ひとり暮らしや高齢者、障がい者、生活困窮者による孤立死などを防ぐためには、いち早く異変を察知し、速やかに手を差し伸べる体制が重要である。ガス会社や郵便事業者と協定を結び、異変の察知に連携して対応することも必要と思うが、今後の改善策と取り組みについて伺う。

A 宮嶋市長 高齢者の見守りとして、民生委員、各種団体、地域の方々に、現在のご協力をいただいております。多様な主体と連携していくことは必要であると考えており、今後も、高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、見守りの仕組みづくりに努めてまいります。

121 小学校にエアコン設置について
321 小・中学校にミストシャワー設置について
4321 地域ネットワーク強化について
543 高齢者への見守り支援について
654 市内施設にLED導入について
7654 通学路の安全点検実施について

質問事項



▲新治小学校

佐藤 文雄 議員

Q 当市の霞ヶ浦放射能汚染対策について伺う

A 国県に要望を出し、市の方針を固めたい

Q 霞ヶ浦のうなぎやアメリカなまずなどが、食品安全基準を上回っているため出荷停止となっている。また、霞ヶ浦に流入する河川の底泥の放射能汚染は深刻で、市民団体の調査では高い値が出ている。霞ヶ浦の放射能汚染の実態を正確に把握することが必要と考えるが、当市としての対策について伺う。

A 宮嶋市長 環境省と茨城県が流入河川などのモニタリング調査を継続的に行っているが、対応方法を明確にできない状況であり、何らかの対策をとるまでには至っておりません。今後は、霞ヶ浦に流入河川を持つ市町村で構成された「霞ヶ浦問題協議会」を通じて、国や県に要望を出して、市として何をやっていけば良いのかを、なるべく早く早く詰めていきたい。

Q 市長の「58歳以上の管理職は置かない」との方針は、退職勧奨ではないか。

A 宮嶋市長 高年齢の課長級以上の管理職を外し、若手職員を登用することにより、組織の活性化を図るものです。高年齢層の職員の早期退職を促しながら職員の新規採用の枠を確保し、全体的に職員数と経費の削減を進め、組織のスリム化と活力ある組織づくりを進めます。本年度は、部長級の職員を対象として行い、平成25年度は、その対象を課長級の職員まで拡大したいと考えております。

質問事項

121 放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る総合対策について
321 入札制度の改善について
21 総合的な子育て支援策について
321 (保育所民営化問題と父母負担軽減)
543 小中学校の統廃合とじめ問題について
654 国民健康保険を命と健康を守る制度に
7654 水道事業について(主に水道料金問題について)
7654 市職員の退職勧奨について



▲霞ヶ浦

山内 庄兵衛 議員

Q 穴倉小と新治小は将来を考え存続を

A 適正規模にするため、統合すべきとの判断

Q 穴倉小学校区は、神立駅の整備がされると人口が増加すると考える。また、県内でも有数のグラウンドや学校林のある新治小は、千代田石岡インターの近くに立地しており人口が増える可能性がある。統合により廃校にしたら、再び学校を建てることは困難であり、将来のことを考えれば残すべきではないか。

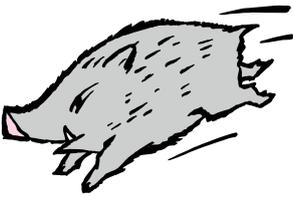
A 菅澤教育長 今後の児童・生徒数の推計も踏まえた中で、新しい統合校が各学年2学級以上の適正規模にするためには、学区審議会の方針に基づいて穴倉小、新治小とも統合すべきとの判断であります。統合後は、よりよい教育環境整備の充実に努めますので、ご理解をお願いします。

Q 最近イノシシが山本、上佐谷、雪入、そして五反田の一部、上志筑と相当出ている。ほとんど作物はつくれず、道路での交通事故も起きている。対策として、山のすそ野に柵を作ることについて伺う。

A 環境経済部長 柵の設置については、地域の実情、特性、要望等を踏まえ、県の補助事業を利用するなど今後検討してまいります。また、先進市の有害鳥獣防止対策、捕獲対策の動向にも注視し、従来行ってきた対策のほか、さらなる対策も講じていきたいと考えております。

4321 放射線対策について
有害鳥獣駆除について
交通網の整備について
教育問題について

質問事項



田谷 文子 議員

Q 女性の社会参画推進に子育て支援の拡大強化を

A 女性が働き続けることのできる環境整備に努める

Q 育児による離職は、働く女性特有の問題です。女性の社会参画を進めるためには、子育て支援の拡大強化が何よりも重要です。また、少子化対策にも結びつくと思いますが、考えを伺います。

A 石川副市長 子育て支援は、助成金等により補助する形と、働きたい女性のために環境を整えていくことの二通りあります。育児については、例えばゼロ歳児保育で待機者が多いことからすると、働くための環境づくりができていないと感じております。女性が働き続けることができる社会づくりは国レベルの大きな課題であり、環境整備に努力していくべきと考えます。

Q シルバー人材センターは、市の補助金を前提とする運営の考え方から転換しない限り、世代感覚差を感じている若い納税者からの理解が得られないと思う。利益を求めない公益法人としての自立的運営はどうあるべきとの考えか。

A 宮嶋市長 市からの補助金については、行財政改革の一環として年次の減額をお願いしております。生きがい対策としてのシルバー人材センターの存在意義は十分認識をしておりますが、一方で、組織としての自立の必要性との観点から、体制の効率化や新たな事業の発掘をお願いしているところです。

21 質問事項

シルバー人材センターの補助金について
女性の社会参画について



▲市立さくら保育所

川村 成二 議員

Q 不祥事からの信頼回復には再発防止行動計画の策定が必要

A 先進事例等を参考にして整備してまいります

Q 公務員の不祥事については、行政みずからが不祥事の実態と再発防止策の「見える化」を率先して実行すべきである。市の信頼回復に向けた取り組みとして、調査・再発防止委員会を発足し、再発防止行動計画を策定して、それに基づき市民に公表すること提案するが、考えを伺う。

A 宮嶋市長 不祥事については、個人の責任としてではなく、組織全体の問題としてとらえ、総合的な対策を講じる必要があると考えます。ご提案いただいた市民に発信できるような行動計画については、先進事例等を参考にして整備していききたいと考えております。

Q 観光サイクリング事業として初めて取り組んだ自転車耐久レース、「かすみがうらエンデューロ」は、当市単独開催の大会として県外各地からも多くの方が参加した価値ある事業です。広くかすみがうら市をPRするだけでなく、当市の価値向上にもつながる大変有効な事業であり、今後の取り組みについて伺う。

A 環境経済部長 多くの参加者から、次回も参加したいとの声をたくさんいただきました。今後もこのイベントを継続開催し、全国の自転車愛好家やイベント来場者に本市の観光PRや地場産品販売等により、観光振興やイメージアップを図っていききたいと考えております。

質問事項

- 1 職員不祥事再発防止策と信頼回復に向けた行動計画について
- 2 観光サイクリング事業「かすみがうらエンデューロ」について
- 3 職員スキルアップ策としての「VE技法」の導入経過について



▲かすみがうらエンデューロ

平成24年度第1回議員研修会

平成24年11月13日（火）
茨城県市議会議長会主催



会場：鹿島セントラルホテル
参加：岡崎議員、山本議員
講演：穂坂 邦夫氏（地方自立政策研究所理事長）
「地方議会改革への挑戦～地方から国を変える～」

平成24年度第2回議員研修会

平成25年2月5日（火）
茨城県市議会議長会主催



会場：三の丸ホテル
参加：川村議員、佐藤議員、加固議員
講演：田崎 史郎氏（自治通信社解説委員）
「揺れ動く内外情勢とこれからの政局について」

緊急質問

栗山 千勝 議員

Q あじさい館の電気料を誤送金したとのことだが、その原因は。 **A** 会計管理者 支出伝票に、送金先とは別の会社名と口座番号等が記入されておりました。伝票処理時の確認漏れが原因です。

Q 不祥事の問題が取りざたされる中、このような失態については最低と思うが、市長はどのように考えているのか。

A 宮嶋市長 ご指摘の通り最低であります。再度のことになります。再発防止に努めてまいります。

意見 不祥事が連続している。今後は議会で指摘されないよう、頑張ってもらいたい。